

00128

總領事代理ヨリモ奉天省政府ニ於テ鮮人ノ保護ニ關シ省内各縣ニ訓令シタル趣通報アリタルニ付キ右一括當管内避難鮮農側ニ通報シ彼等カ安心シテ原住地ニ復歸スル様勸告シ置キタリ

右報告申進ス

本信寫送付先 在中國公使

北平首席

奉天 安東 遼陽 牛莊 鐵嶺

長春及朝鮮總督府

S

11109

128

00127

鮮人原住地復歸ニ關シ支那側ニ保護方諒解ノ件

鮮人避難民ガ原住地ニ復歸ニ關シ其原住地所屬支那官憲タル開魯、通遼、鄭家屯、洮南、突泉ノ各縣縣長ニ夫々公文ヲ以テ地方治安維持鮮人ノ保護差別待遇不法措置ノ撤去支那側地主ト鮮農トノ紛糾調停等ニ就キ可然斡旋方篤ト要望致タル處鄭家屯、通遼、洮南各縣長ヨリ當方ノ要請ヲ容レ極力責任ヲ以テ保護ノ任ニ當ル可キ旨回答アリ且又奉天

外務大臣 芳澤謙吉殿

在鄭家屯

領事 大和久義

S

11109

127

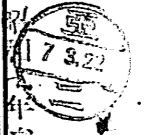
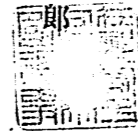
亞細亞局

公第七三號

昭和七年三月十三日

在鄭家屯

領事 大和久義



三月拾九日接受

寫送先

00130

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米

次大臣
亞細亞

電信課長

(分類 A.110.21-1-2)

昭和7 七〇一四 暗 奉天 十八日後發
本省 三月十八日後着 亞

芳澤外務大臣 森島總領事代理

第四二三號ノ一
往電第三六五號ニ關シ

十六日本官滿鐵並關東廳側ト打合ノ爲旅大出張ノ際關東廳警務課長
ヲ往訪鮮人歸還ノ爲臨時警察官出張ノ件ニ關シ具體的ニ協議セル處
其際其課長ハ今回増員セル巡查五百名、巡捕一千名中巡查二百名ハ
先般鮮府側ヨリ借入レタル安奉線沿線警察官ノ入替トシテ又二百五
十名ハ事變後關東州内ヨリ州外へ應援ニ出シアル分ノ補助トシテ大
藏省側ノ承認ヲ得タルモノニシテ鮮人現地保護ノ爲奧地派遣ノ分ハ

S 11109 130

外務省

00129

懸案

公文書案	別紙御參考迄ニ送付ス	件名 鮮農歸還ニ関シ便宜供與方 縣政府ニ申入ノ件	受信人 堀切 振彦	發信人 永井 外務局長
(昭和七年三月三日附)	鐵嶺 領事館來信 第一八一號寫及附屬書寫	名込綴	昭和七年三月十六日附	附屬書
公文書案	外務省	外務省	外務省	外務省

S 11109 129 16 21

文書課長

文書課發送

昭和七年三月十七日發送

別紙

淨書

正(原稿)

(淨書)

(甲號用紙)

寫送先

00132

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次官 大臣

電信課長

分類(1.1.40.2/1-2)

昭和7 七〇一五 暗 奉天 十八日後發 亞
本省 三月十八日後着

芳澤外務大臣
第四二三號ノ二

但前述ノ通ノ事情ニテ先般大藏省ノ承認ヲ得タル前述増員計畫中ニハ派出所、住居等ノ設備費、旅費、事務費等ヲ包含セサル結果追加豫算成立迄ハ右種經費捻出ノ方法無キ爲駐在ヲ命スルヲ得ス出張ノ形式ヲ執ル外無キ次第ナリ右ハ林局長トノ御話合トハ異ナルモ右ハ當時自分(警務課長)ハ上京中ニテ同局長ハ豫算ノ内容ニ付未タ充分通報ヲ受ケ居ラサリシ關係ニ出ツルモノナルニ付事情御諒承アリタク出張期間モ追加豫算協賛ニ至ル迄精々四、五十日間位ノコトニ

外務省

S

11109

132

00131

右増員トハ別箇ニ追加豫算ニ計上スルノ外無キニ至リタル次第ナルモ鮮人歸還期差迫リ居ル實情ニモ鑑ミ州内補充ノ分中ヨリ近日中ニ巡查二百二、三十名、巡捕四百四、五十名ヲ不取敢奥地ニ振向クルコトトセリ(現在ノ匪賊狀況ニ鑑ミ警備單位ハ一箇所少クトモ十名内外トセサルヲ得サル由)(續ク)

外務省

S

11109

131

00133

テ其後ハ駐在所ノ經費等全部關東廳側ニテ負擔スルコトナル次第
 ニ付是非外務省側ニテ右臨時出張旅費丈ケハ支出相成度キ旨申出ア
 リタリ本件ニ關シテハ茲ニ貴電第一一〇號ノ次第ハアルモ此際右出
 張ニ要スル費用約四萬三千圓（巡查一日二圓、巡捕同シク一圓見當
 ニ打切ルコトトシテ約四十日間ノ見積）ハ特別御診議ヲ以テ支出
 方御配慮ノ上結果御回電アリタク尙差當リノ費用ハ貴電第一二八號
 御送付ノ金八千圓ヲ以テ之ニ當ツルコトト致スヘキニ付右併セテ御
 含置ヲ請フ

滿洲里、哈爾濱、農安ヲ除ク在滿各館ニ轉電セリ

外務省

S

11109

133

REEL No. A-0085

0078

アジア歴史資料センター

00135

ニセル所要求ニテ一寸辻褄ノ合ヒ
 無ナル感アルニ冒頭貴電ノ計
 劃ハ實際真ニ理由アルモノト存
 セル實現方所力申致スヘキ
 處ニテ大臣宛貴電第三八三
 號關係ノ所稟請ハ一應清算
 (從來ノ行キ掛クモアリ)

セラルヘキコトト存スルニ付會計課

電信案

外務省

S

11109

135

(原議用紙乙)

00134

事件費支辨

彼。者。等。

大臣宛貴電第四二三號ニ関シ
 目表ニ會計課長宛館長符號ニ
 テ市田電ノ四万四トハ更ニ性質ヲ異
 三浦ヨリ
 森島總領事代理
 在奉天

暗

第 號

極 秘

電信案

外務省

S

11109

134

電信課長 昭和七年三月二十日午後發電 (原議用紙甲) 國
 主任 三浦 三浦 三浦

主任 三浦

主任 三浦

主任 三浦

主任 三浦

件

在奉天 森島總領事代理

名込綴

發 芳澤外務大臣

00137

電 信 案
 外 務 省
 力道了係り付ケル予ニ成タル等ノ理
 ノ意味ヲ明カニシ(例ハ各長等ニテ極
 三ハ三辨ハ大臣宛ニ改メテ取消
 高ホ右様相運フニ於テハ^{形式的}光電第
 レンコトヲ望ム
 案ナシコトヲ會計課長宛館長
 符辨ニテ改メテ打明ケ置カ
 (原議用紙乙)

S

11109

137

00136

電 信 案
 外 務 省
 劃ハ實際問題トシテ絶^對傳對ニ
 及^{冒頭}本^案貴電^案第^四年^本辨^ノ計
 第三八三辨ハ^今論議ニ及ハサルコト
 ハ不^要ニ^ル帰^ルコト^ハ從^テ貴電
 依^リ滿鐵トノ^話合^付キ^氏ノ^分
 埋^メ合^セノ^件ハ^貴官^ノ由^力
 長宛三月十一日貴電農耕貸資金
 (原議用紙乙)

S

11109

136



寫送先

00139

會文人情條通歐
計書事化報約商米

次官
大臣
亞細亞
電信課長

(分類 A. 1. 1. 0. 21-1-2)

昭和7 七二一七 暗 奉天 二十一日後發 亞
本省 三月二十一日後着

芳澤外務大臣
第四三六號
本官發海龍宛電報
第一九號(至急)

滯海線沿線ニ歸農スヘキ鮮人避難民約四百名二十二名午前九時發臨
時列車ニテ出發ノ豫定ナル處三月十八日附大臣宛機密第一七七號拙
信清源ニ出張駐在スヘキ警察官十一名(部長一巡查五巡捕五)ヲ右
一行ニ附添ハシム可キニ付支那側トモ聯絡ヲ執リ諸事御配慮相成タシ
外務大臣へ轉電セリ

外務省

S

11109

139

記

滿洲日支衝突關係
在留日人保護關係
朝鮮日人保護關係
朝鮮日人保護關係

00138

電信案

外務省

由リ附シ(斗カオルルコト)事務的ニ
必要ニ付
持向ル計ヒツル

(原議用紙乙)

S

11109

138

安東の避難民 次第に原住地へ

既に二百廿一名歸り

廿五日までには大部分歸還

高州軍機突發以來急激に増加一方を辿つてゐた安東への避難民も去る三月一日より當局の避難民へ收容を極限されてゐたためそれ以來の避難民に對しては詳人會の手に依つてソレ／＼原住地或は郷里に歸還せしめつつあつたが、感、朝鮮總督府、現地領事館のこれが處置決定と共に三月十五日より旅費、食費、器具、住居費として若干をそれ／＼寄與し原住地に歸還せしめることとなつた、従来より收容中の人員千四百八十七名中昨日までに原地に歸還せしめたものは三百二十一名に達してゐる、尚ほ殘留者の千六百六十六名も来る二十五日までには全部原地歸還を了すこととなつてゐるが、現安東の状況は頗るそれが不可能の虞がある、これについて金會長は

今までに歸還せしめたのは鳳凰城、大東溝、五龍背、高麗門、趙子溝、麻子溝、白米地方面で、すが皆ソレ／＼旅費其他を支給して歸してゐる譯です、来る二十五日までには歸へしてはねばならないこととなつてゐますが、附近は皆かへつても、遠方の御田舎へはチツトも歸らうとせず困つてゐます、私は毎日避難民を助けて二十五日に原地に歸へれば旅費、食費、器具、住居費を支給して、歸すから歸れ、と囁んでふくめる譯に云つて聞かせて居ります、それでもまだ歸らない者があるとすれば随分困つたものです、第一私はこの事を非常に心配してゐます

國境毎日 新聞 昭和七年三月二日

S

11109

140

00142

外務省

相談ノ結果明二十二日當地ヨリ我一箇大隊ヲ關係地方ニ派遣シ張軍ト協力討伐セシムルコトトナリタリ當地避難中ノ鮮農全部（龍江縣ヨリノ者モ含ム但一部罹病者ヲ除ク）モ當館警察官ノ引率ノ下ニ我討伐隊ト共ニ泰來、景星縣下ニ歸還又ハ轉任スルコトトナリタリ右吳副領事ノ當地出張ハ間ニ合ハサルニ付見合セラレ度シ奉天ヨリ大臣ヘ轉電アリ度シ

7.2 S 11109 142

00141

外務省

昭和7 七二八六 暗 奉天 二十二日後發
本省 三月二十二日後着 森島總領事代理
芳澤外務大臣
第四三七號
齊々哈爾發本官宛電報
第九號
貴電合第二七八號ニ關シ
景星、泰來兩縣下鮮農集團地ハ客年末以來引續キ土匪横行シ鮮農ノ歸還不可能ニ付先達而來討伐方張海鵬ニ交渉セシモ（江省中嫩江以南ノ泰來、景星、大賚ノ三縣ハ我軍部ニテ各年末頃ヨリ張海鵬ノ管下ニ移シタリ）同軍ニ於テ充分ニ掃蕩シ得サルニ付今回當地軍部ト

7.2 S 11109 141

編者附言
原書A.L.O.2147
滿洲省警察廳
治安維持課
兵運付伐手係

分類 A110.211-2

滿洲日支電報突擊關係一件
在滿洲省警察廳
治安維持課
兵運付伐手係

00144

外務省

百七十一名ニ過キス引續キ極力懲源中ナルモ大多數ハ來月ニ持越スノ外無カルヘク收容所ノ急速閉鎖ノ爲ニハ此際匪賊ノ大討伐ト共ニ警察官ノ充實ヲ急務トスヘント認メラル尙避難民ノ集團移住地トシテ豫定シタル砂子溝ハ其後朝鮮總督府及東亞勸業公司ノ技術員實地調査ノ結果場所、地味等~~等~~メテ良好ナルモ唯差當リノ計畫ニテハ趙子溝（鴨綠江支流）ノ水量稍不足ノ觀アリ又一方土地ノ入手ニ付テモ若干時日ヲ要シ旁々本春右集團ノ移住ハ至難ニ非スヤト懸念セラルルモ目下各方面ニ亘リ銳意折衝中ナリ

奉天、朝鮮總督、關東長官へ轉電セリ

S

11109

144

寫送先

00143

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米

大臣

電信課長

(分類A.1.1.0.21-1-2)

外務省

昭和7 七三〇三 暗 安東 廿二日後發
本省 三月廿二日後着 亞

芳澤外務大臣 米澤領事

第五八號

管下安東及鳳凰城避難民收容所ニ於ケル避難鮮人ノ歸還措置ニ關シ客月末迄ニ於テハ徐文海ノ歸順問題ノ好轉ト匪賊ノ一般的沈靜トニ依リ鳳城縣下ヨリノ避難民二百四十戸千三百名ハ殆ト總テ~~現~~住地ニ歸還セシメ得ル見込ナル處往電第八號ノ如ク本月ニ入り湯山城並通遠堡ノ襲撃ヲ始メ與地一帶ニ亘リ再ヒ匪賊ノ跳梁ヲ見ルニ至リタル爲從前ノ希望ヲ捨テ歸還ヲ肯ンセサル者俄カニ多數ニ及ヒ昨二十一日迄ニ歸還セシメタル者（他管内ヘノ歸還ヲ含ム）漸ク六十九戸ニ

S

11109

143

記

00146

奉天居留民會ニ於テ目下收容救濟中ノ避難鮮人ハ現在二千二百三名ニ達シ居レルカ奉天總領事館ニ於テハ之レカ原地歸還問題ニ關シ種々對策講究中ノ處旅費食費程代農具代借地料等ヲ一戸當リ(五人)金七十五圓ヲ給與シ近ク原住地ニ全部歸還セシムルコトナレル爲其以前ニ於テ原地歸還ニ關スル經緯及今後ノ注意方ニ關シ訓戒スル必要アリトシ本月十五日午前十一時ヨリ同地西塔露國墓地裏ノ奉天普通學校ニ避難鮮人戸主等五百名ヲ召集シ民會ヨリ會長代理副會長林漢龍、副理事朴準秉、金書記、總領事館吳副領事ヨリ約一時間半ニ亘リ説明シタル處從來原地歸還反對ノ聲ヲ揚ケツツアリシモノモ之ニ感動シ午後一時散會シタル模様ナルカ尙避難鮮人ニ支給スヘキ金額ハ避難鮮農増加等ヲ考慮シテ言渡サス單ニ旅費食費等ヲ與フル事ヲ聲明セリ

以上

S

11109

146

00145

1110.21-1-2

避難鮮人ニ對スル原地歸還後補奉天居留民會ニ於テ目下收容救濟中ノ避難鮮人ハ現在二千二百三名ニ達シ居レルカ奉天總領事館ニ於テハ之レカ原地歸還問題ニ關シ種々對策講究中ノ處旅費食費程代農具代借地料等ヲ一戸當リ(五人)金七十五圓ヲ給與シ近ク原住地ニ全部歸還セシムルコトナレル爲其以前ニ於テ原地歸還ニ關スル經緯及今後ノ注意方ニ關シ訓戒スル必要アリトシ本月十五日午前十一時ヨリ同地西塔露國墓地裏ノ奉天普通學校ニ避難鮮人戸主等五百名ヲ召集シ民會ヨリ會長代理副會長林漢龍、副理事朴準秉、金書記、總領事館吳副領事ヨリ約一時間半ニ亘リ説明シタル處從來原地歸還反對ノ聲ヲ揚ケツツアリシモノモ之ニ感動シ午後一時散會シタル模様ナルカ尙避難鮮人ニ支給スヘキ金額ハ避難鮮農増加等ヲ考慮シテ言渡サス單ニ旅費食費等ヲ與フル事ヲ聲明セリ

避難鮮人ニ對スル原地歸還後補

拓務	內務	外務	內務	朝鮮	關東	關東	關東	關東	關東
次官	記次官	保次官	警務局長	警務局長	警務局長	警務局長	警務局長	警務局長	警務局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長

關東廳警務局長

秘

昭和七年三月二十二日

件名 遼東省 奉天居留民會 避難鮮人 旅費食費 支給 申請 書
 昭利七年三月二十八日 受
 關東廳 警務局長 印

S

11109

145

48

電信課長

大臣

次官

亞細亞

00147

00146

歐米通條約
米商報
化事
文書
人文
文會
計書

寫送先

(分類A.1.1.0.2/-1-2.)

昭和7 七三七七 略

吉林 本省

三月廿三日 後發着

亞

芳澤外務大臣

石射總領事

第一六七號

貴電第二六號ニ關シ

避難朝鮮人ノ世話及其原地歸還等ハ各地朝鮮人會ヲシテ實地ニ當ラ
シムルノ外無ク之カ爲各民會等モ事變以來人手ヲ要シ之カ經費支辨
ニハ各民會トモ困リ拔キ居ルニ付滿洲事件費ヨリ客年往電第一九〇
號ノ半額ニテモ此際御支出相仰度ク支出ニ關シテハ金ヲ當館ニ保管
ノ上必要ニ應シ按排支給スヘシ

記
在吉林
石射總領事
三月廿三日發着

外務省

S

11109

147

00148

1110. 21-1-1-2

亞細亞局
機密公第二三四號

昭和七年三月二十四日

在 吉 林
總領事 石 野 猪 太 郎

外務大臣 芳 澤 謙 吉 殿

鮮人保護方申入ニ關スル件

客年事變以來當館管内各地ニ居住鮮人ハ兵匪ノ難ヲ遭レテ當地方ニ
來レルモノ續出シ其一部ハ當地及蛟河等ノ收容所ニ於テ之ヲ救済シ
タルモ其外市内ノ友人等ヲ便リテ居ルモノモ尠ナカラサル處種時
期モ目前ニ迫リ且一部地方ノ平靜ニ歸シ得タル場所モアリ此際至急
右鮮人等ノ歸還ヲ促進セシムル案地ヲ作ル爲鮮人ニ對シテハ事態ヲ
説明シ其歸還ヲ勸ムルト共ニ吉林交涉署長ニ對シ別紙甲號ノ通り
鮮人保護方申入レタル處同交渉署長ヨリ別紙乙號(譯文添附)ノ通

三浦

件
吉林交涉署
三月二十四日
石野猪太郎

昭和七年四月四日
別紙添附

S

11109

148



00150

并啓陳者 答年事變以來地方ノ治安紊レタルニ乘シ兵匪威感セル爲地
方ノ鮮農ハ是等兵匪ノ害ヲ蒙リ或ハ地方官中猶從來ノ如キ排日觀
念ヲ有シ殊更ニ鮮農壓迫ノ事實モアル趣ニシテ是等鮮農ヨリ其保護
方當館ニ願出ツルモノ願出シ居ル有様ニ有之且又事變以來當地方ニ
避難シ來レル鮮人一千餘名ニ對シ居リ是等避難鮮人ハ本年農耕ニ從
事スル爲原住地ニ歸還スル必要ニ迫ラレ居ル實情ニ有之候間此際改
メテ地方官憲ニ對シ充分ナル保護ヲ鮮人ニ加ヘ篤ト新事態ヲ理解シ
排斥等ノ事實ナキハ勿論一般民衆言動ニ對シテモ特ニ注意ヲ加ヘテ

吉林交涉者
者長 謝 介石 殿

甲號
公文第七號
昭和七年二月二十七日

在 吉林
總領事 石 射 猪 太 郎

S

11109

150

00149

回答アリタリ
右報告申進ス
本信寫送附先
在華公使及北平
奉天 哈爾濱 間島各總領事
長春 齊々哈爾各領事
朝鮮總督

S

11109

149

00151

之ヲ取締ル等嚴重訓令方御取計相成尙何分ノ儀御回報相成度此段申
進得貴意候 敬具

11109

151

S

00152

乙號

照會第三號

爲照覆事案准

貴總領事第七號照會爲現屆耕耘工作開始之時各地鮮農極有歸還原住
地之必要請爲轉飭各地方官豫以相當保護勿再發生排斥之事並注意一
般民衆之言動等因前來當經轉呈

吉林省長官公署按照來照之意通飭各屬知照去訖茲奉

指令內開查本省對於居留鮮僑暨被匪擾之鮮農等業經令縣切實保護有
案其軌外言動尤所不許據呈前情仍候進行遵照惟查粵變以來各地鮮僑
異常騷張屢有藉端生事不服官廳約束之處應卽照會日領嚴飭各該鮮民
等安分守業遇有應辦事項務須請准所在地方官署以資融洽而便保護等
因奉此相應照請

貴總領事查照前情嚴飭鮮民勿得有藉端生事情形並遇事請准所在地方

官廳辦理庶人民彼此益加融洽而輯睦有道矣卽祈

查照辦理至急感荷此照會

大日本駐吉總領事石狩猪太郎

吉林交涉署署長謝介石

大同元年三月十七日

11109

152

S

(譯文)

拜復陳者貴總領事第七號照會ヲ以テ境ニ耕耘工作開始ノ時到リ各地
 鮮農ハ原任地ニ歸還ノ必要ニ迫ラレ居ルニ付各地方官ニ職命シ相當
 ノ保護ヲ加ヘ再ヒ排斥ノ事實發生ナカラシメラレ度並一般民衆ノ言
 動ニ注意セシメラレ度旨御申越相成直チニ御來示ノ通り各所屬ニ通
 令方吉林省長官公署ニ具申致置キタル處右ニ對シ向長官公署ヨリ居
 留鮮僑及匪害ヲ被レル鮮農ニ對シテハ切實保護ヲ加フル様既ニ縣ニ
 命令シアル處其軌外ノ言動ハ最モ許ササル所ナルニ付前記具申ノ事
 情ニ依リ更ニ各縣ニ通令スルコトセリ最モ事變以來各地鮮僑ハ異
 常ニ喧擾シ屢々事端ヲ藉リテ事ヲ醸サントシ官廳ノ約束ニ服セサル
 處アルニ付日本領事ニ對シ是等鮮民ニ向ヒ安分守業シ何等辦スヘキ
 事項アルトキハ必ス現地ノ地方官署ニ申出テ以テ融合ニ資シ且保護
 ニ便スル様嚴命方照會スヘキ旨指令有之候
 就テハ右御了承相成度此段照會得貴意候 敬具

S

寫送先

00156

會文人事情條通歐亞
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

分類 1.1.0.21-1-2

第九二號
公主嶺警察署長ノ報告ニ依レハ同地避難鮮農歸還先發鮮農代表ノ懷
德縣五家子方面ヘノ乘込ミヲ保護スヘク縣公安隊員八十五名爲念署
員十八名ヲ廿六日騎馬ニテ出發セシメタル途中百五六十名ノ馬賊
ノ襲撃ニ遭ヒ佐藤巡查及公安隊員二名ハ腕ニ貫通傷ヲ負ヒタル旨同
日午後四時通報ニ接シ軍部ニ派兵應援方ヲ申込ミタルカ派兵ノ都合
付カス不取敢裝甲自働車一臺ノ貸與ヲ受ケ之ニ二臺ノ「トラック」
ヲ附シ今二十七日早朝四十名ノ署員ヲ衝突地ニ急行セシメタリ其結

第九二號

芳澤外務大臣

田代領事

昭和7 七七三七

長春 廿八日前發
本省 三月廿八日後着

亞

S

11109

156

記

外務省

寫送先

00155

會文人事情條通歐亞
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

分類 1.1.0.21-1-2

第四七號
奉天或往電第九號ニ關シ
田上大隊長弓野警部以下ノ一行ハ鮮農百五十九名ヲ「ナンバダイ」
外各部落ニ送り届ケ村落附近ノ途中ノ土匪ヲ討伐シ本廿七日無事歸
還セリ委細公信
奉天ヘ轉電セリ

第四七號

芳澤外務大臣

清水領事

昭和7 七六九七

齊々哈爾
本省 三月廿七日後着

亞

S

11109

155

記

外務省

00157

果賊ハ遂ニ梨樹縣方面ニ退却シ鮮農一行ハ無事五家子方面ニ向ヒ地
主トノ間ニ商議ヲ進メツツアリ今朝急派シタル四十名モ無事今夕歸
來ス尙鮮農歸還ハ豫定通り實行シ得ル見込ナリトノ事ナリ
奉天、朝鮮總督ニ轉電セリ

外務省

S

11109

157

REEL No. A-0085

0099

アジア歴史資料センター

00158

電 信 案	外 務 省	電 信 課 長	管 主 會 計 課 長	任 主	電送第 6679 號	昭和 7 年 3 月 28 日 午後 時 分	宛 奉 天 森 島 總 領 事 代 理	發 發 方 澤 大 臣
					暗 平 略	第一五一號	件 不 心 件	名 件 録 記
三度又未年度ハ二万五千円ヲ限度トシ承認ス 田ニテ申上ノ流用ハ差支ナシニ警察備員備上料トシテ証明セ 貴署第四五四號ニ罪シ警察官出張旅費ハ既送ノ八千								

S

11109

158

REEL No. A-0085



アジア歴史資料センター

00160

了レニ付誤解ナキ様訂正セラレ度尚右ニ
 千五千円ニ付テモ右者繰合可能ノ最大限
 度ヲ示シタルモノナレハ可成同金額ノ範
 囲内ニテ延弁ノコトニ依リ度右ハ勿論
 事能ハ如何ニ依ルコトナルハモ貴電ニ未段
 一次モアリ右者至理ノ都合モ了ルニ付此
 上ノ由既竟ヲ希望ス

電信案

外務省

S

11109

160

(原議用紙乙)

00159

写

件 警察官出張旅費ニ関スル件
 宛 在奉天
 森島總領事代理
 發 芳澤大佐
 名込綴
 管主 任主 (起草大正 年 月 日)
 暗 第 號
 貴電レカ五七二号ノニ関シ由申越ノ参方円
 ハ往電レカ一五二号ノニ付七年度ニ於テ支山
 限度ヲ兼認シタル金ニ千五千円ニ関スルモノ
 ト認メラルルニ付若シ然リトスレハ五千円ノ喰
 電信案 外務省

S

11109

159

電信課長

電信案

(原議用紙甲) 國

00162

外務省

歸還ノ途ニ就キタリ
支、北平、奉天、吉林、長春へ轉電シ齊々哈爾へ暗送セリ

S

11109 162

寫送先

00161

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

(分類A.1.1.0.21-1-2)

外務省

昭和7 八〇六二 暗
哈爾賓 卅一日後發
本 省 三月卅一日後着
亞、人
芳澤外務大臣
三五九號
長岡總領事代理
分署開設ニ關シ備付銃器、彈藥未着ナルノミナラス現在ノ情勢ニ鑑
ミ各約半數ノ署員ヲ先發セシメ暫ク狀況ヲ查察シ一面準備ヲ了シタ
ル上残り半數ヲ赴任セシムルヲ機宜ノ措置ト認メ不取敢三十一日陶
賴昭へハ分署長以下部長一、巡査十五名、計十二名、一面坡、寧古塔ハ
各分署長以下部長一、巡査十五名、計十七名宛ヲ各自當館警察署保
管中ノ「モーゼル」拳銃ヲ携帶出發セシメタルカ當地へ引揚ケ避難
中ノ内地人男子中寧古塔方面十、一面坡二十一ハ右一行ト共ニ原地

S

11109 161

記録
滿洲日支衝突事場關係一件
在留邦人保護及引揚ケ係
陸軍省
三月卅一日

00164

外務省

リ從テ目下當地ニハ避難鮮人ナシ
 哈爾賓へ暗送セリ

S

11109

164

寫送先

00163

會文人情條通歐亞
 計書事化報約商米細亞

次官大臣

電信課長

(分類A.1.1.0, 2/-1-2.)

外務省

昭和7 八三六二 暗 奉天 四月五日 發 亞
 本省 四月五日前着
 森島總領事代理
 第五一〇號
 齊齊哈爾發本官宛電報
 第一三號
 外務大臣へ轉電アリタシ
 第四九號
 奉天宛往電第九號及閣下宛往電第四七號ニ關シ
 殘留避難者二十戸五十三名ハ其ノ後病氣恢復セシニ付三月三十一日
 當地發全部泰來縣下「ナンバタイ」方面ニ歸還若クハ轉住セシメタ

S

11109

163

記

在另部ハ改及リ揚州係
 遊覽鮮人ハ此ノ中ニ在リ

00166



あゆむ
たゆむ

普通第三一八號

昭和七年四月五日

在安東
領事米澤菊



外務大臣 芳澤謙吉 殿

避難民原住地歸還ニ關スル件

避難民ノ歸還事務取扱開始ニ關シテハ客月十九日附奉天宛普通奉領
第二〇八號拙信寫ヲ以テ不取敢報告致置タル處其ノ後極力原住地歸
還ヲ勸說シタルト一般ニ治安回復及現地保護ニ關スル當局ノ努力ニ
對スル信頼増進シタル結果續々歸還ヲ見ルニ至リ安東ニ於テハ四日

在安東日本領事館



11109

166

亞細亞局

第三一八號

昭和七年四月九日

接受

BI

寫送先

00165

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

分類 4.1.1.0.2/1-2

昭和7 八三六七

安東縣
本省

四月五日
前着

亞二

芳澤外務大臣

米澤領事

第六六號

避難鮮人ノ處置ニ付テハ耕地關係ノ斡旋ト共ニ極力原住地歸還ヲ
漁シタル結果安東ニ於テハ本四日現在殘留者三〇戸一七二名トナリ
又鳳凰城ニ於テハ客月三十一日收容所ヲ閉鎖シ全部救護ヲ打切レリ
委細郵報ス
奉天、朝鮮總督へ轉電セリ

外務省



11109

165

00168

十一名) 當分駐在セシムルコトトセリ
右報告申進ス

本信寫送付先 奉天 朝鮮總督

在安東日本領事館

S

11109

168

BII

00167

現在ノ殘留者三十戸百七十二名トナリ收容所ハ朝鮮人會附屬幼稚園
及驛待合室ノ二個所ヲ閉鎖シ目下滿銀建物一個所(外ニ六道溝滿鐵
隔離病室及分散宿舍若干アリ)ヲ殘スノミトナリ又鳳凰城ニ於テハ
容月卅一日收容所ヲ閉鎖シ救護ヲ打切りタルカ避難民ハ全部歸還又
ハ歸還準備中ナリ從テ義ニ原地歸還不能者相當多數ニ上ル見込ヲ以
テ計畫セル集團農耕地問題ハ自然實際上ノ必要消滅セルニ加ヘ其ノ
後滿洲側當局ヲ介シ銳意折衝ヲ重ネタルモ價格ノ點ニ於テ彼我ノ商
議容易ニ纏マラス本春移住ノ間ニ合ハサルヤノ虞モアルニ至リ旁々
一應之ヲ見合スコトトセリ
尙歸還者ノ原地保護及地主トノ關係斡旋ノ爲四日警察官九十五名ヲ
各地ニ派遣(安東縣大東溝三十四名同三道浪頭二十名鳳城縣大堡四

在安東日本領事館

S

11109

167

BII

00170

ノ下ニ施家堡子ニ歸還セリ
 右報告申進ス
 奉天總領事
 朝鮮總督府外事課長

在鐵嶺日本領事館



11109

170

00169

大倉公

亞細亞局
 普通第二四二號
 昭和七年四月五日
 在鐵嶺
 領事代理 石塚 邦 器
 外務大臣 芳 澤 謙 吉 殿
 施家堡子出張所開設ト鮮農原地歸還ノ件
 當節警察署開原縣施家堡子出張所開設並歸還鮮農保護ノ爲本月四日
 飛田警部補以下巡查九名、巡捕十名出發現地ニ(當地避難民收容所ニ
 在リテ救済ヲ受ケツツアリシ鮮農廿四戸、百卅八名ハ朝鮮人會ヨリ
 歸農旅費、食糧費、住居費ノ支給ヲ受ケ歸農準備ヲ整へ馬車十五台
 ヲ雇ヒ同日朝六時半當地ヲ出發シ平頂堡驛ニ到リ前記警察官ノ保護

在鐵嶺日本領事館



11109

169

昭和七年四月九日 接受



00171-1

電信寫

00171

芳澤
外務大臣

芳澤外務大臣

第二一〇號

百草溝發本官宛號外

大臣へ第四號

本官本日午前帝國軍隊ト共ニ當地ニ復讐事務ヲ開始セリ

公使、北平、奉天、吉林、哈爾濱、長春、朝鮮總督、三分館へ轉電

アリマシ

閩島
本省

四月六日發着

岡田總領事

S

11109

171

REEL No. A-0085

アジア歴史資料センター

00173

鮮農保護ノ爲警察官奥地出張ニ關スル件
本件ニ關シ本月五日附機密合第一二八號貴信ヲ以テ御通報ノ趣了承
右警察官ノ派遣ニ付當館ニ於テハ既ニ本月四日九十五名ヲ左記ノ通
夫々現地ニ出張セシメ（本月五日附普通第三一八號大臣宛拙信寫參

在奉天
總領事代理 森 島 守 人 殿

在 安 東
領 事 米 澤 菊 二

昭和七年四月六日

奉 天
機 密 第 二 四 六 號

在安東日本領事館

S

11109

173

BII

00172

一、鮮農保護ノ爲警察官奥地出張ニ關スル件

件 名

奉天總領事代理

宛往信寫別紙茲ニ送付ス

昭和七年四月六日附機密^{奉領}第二四六號

外務大臣 芳 澤 謙 吉 殿

在安東
領 事 米 澤 菊



本内
ちゅうりゅう

昭和七年四月六日

亞細亞局
機密第三二四號

附屬添付

昭和七年四月拾壹日



S

11109

172

00174

本信寫送付先 外務大臣 朝鮮總督	臨時計	既設	駐在區分	安東領事館内鮮人現地保護警察官配置表(暫定)	記	照)居ルニ付之ニ要スル旅費不取敢向後二ヶ月分至急御送金相成度此段御依頼申進ス 追テ右警察官ニ對スル出張旅費決定額ハ此際御回報相成度爲念申添フ	
	大堡	三道浪頭	大東溝				駐在地
							警部
	-	-					警部補
							巡查部長
	五八	二三	二三				巡查員
三五	一七	一〇	巡捕員				
九五	四一	三四	計				
		安東	配置署名				

在安東日本領事館

S

11109

174

B11

REEL No. A-0085

00176

公領機密第五六號
 昭和七年四月五日

在 奉 天
 總領事代理 森 島 守 人 殿

避難民ノ歸還事務取扱ニ關スル件

當館管内各地收容所ニ於ケル避難鮮人ニシテ原住地ニ歸還又ハ新移
 住地ニ出發スル者ニ對シテハ當館ヨリ當該滿洲國地方官憲ニ對シ避
 難鮮人タルコトヲ證明シ以テ出來得ル限り保護ヲ加フル様依頼スル
 ト同時ニ別紙ノ如キ收容證ヲ朝鮮人民會長ヲシテ發給セシメ後日此

S 11109 176

00175

件名
 避難民ノ歸還事務取扱ニ關スル件

本件ニ關スル 四月 五日附 在 奉 天
 森島總領事代理 宛

拙信 公領 機密 第五六 號寫何等御參考迄茲ニ送付ス

S 11109 175

外務大臣芳澤謙吉 殿

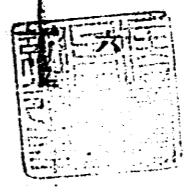
あゆむら
ちかみ

在哈爾賓 總領事代理 長岡 半
 總領事 大橋 忠

昭和七年四月六日

機密第一八五號

昭和七年四月拾四日發
 別紙添付



00177

等避難民ニ對シ救護金ヲ支給スル必要アル場合右收容證ニ依リ、
各避難民個々ニ付調査セル調査票ト對照ノ上本人タルコトヲ確認ス
ルニ便ナラシムルト共ニ歸還又ハ移住地ニ到着ノ上ハ當館ヨリ交付
乘書ヲ以テ當館宛住所ヲ通知セシムルコトトセルカ尙救護金給與取
扱ニ際シテハ別添ノ如キカードヲ以テ之カ處理ヲ爲スコトトセリ
右御參考迄通報ス

本信寫送付先

外務大臣

朝鮮總督官房外事課長

S

11109

177

REEL No. A-0085

0105

アジア歴史資料センター



00173

收容證	
氏名	
年齢	
家族數	
收容所名	
以上ノモノ收容民ナルコトヲ證ス 昭和七年三月 日 哈爾濱 朝鮮人居留民會長	

S 11109 178



00179

番 號	戶 氏 主 名		
行 先 地	省 縣		
旅 行	乘 車	徒 步	
	自 至 乘車所要時間	自 至 行 先 地 里	自 至 行 先 地 里
家 族 數	五 歲 未 滿	十 歲 未 滿	十 歲 以 上
	人	人	人
汽 車 賃			
辨 當 代			
食 繼 費			
農 具 及 住 居 費			
計			
領 受	年 月 日		

S

11109

179

昭和七年 月 日

(地主姓名) (耕地面積)

(住所) 第 縣 號

(氏名)

00178-1